

対象校No. 775
注4

学校コード F124310107183
注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 臨床検査学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人鈴鹿医療科学大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 法人事務局企画広報課

職名・氏名 カカリチョウ ヤマサキ オサム
係長・山崎 領

電話番号 059-340-0330

(夜間) なし

e-mail kikaku@suzuka-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

保健衛生学部

＜臨床検査学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	38
7. その他全般的事項	40
添付. 鈴鹿医療科学大学FD推進委員会規程	別ファイル

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人鈴鹿医療科学大学

(2) 大 学 名

鈴鹿医療科学大学

(3) 調査対象大学等の位置

千代崎キャンパス（2年次以降及び本部）
〒510-0293
三重県鈴鹿市岸岡町1001番地1

白子キャンパス（1年次）
〒510-8670
三重県鈴鹿市南玉垣町3500番地3

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(タカギ ジュンイチ) 高木 純一 (令和元年6月19日)		就任(平成19年3月26日) 再任(平成19年5月28日) 再任(平成23年5月30日) 再任(平成27年6月19日) 再任(令和元年6月19日) 再任(令和5年6月19日) (6)
学 長	(トヨダ ナガヤス) 豊田 長康 (令和5年4月1日)		就任(平成25年4月1日) 再任(平成27年4月1日) 再任(平成29年4月1日) 再任(平成31年4月1日) 再任(令和3年4月1日) 再任(令和5年4月1日) (5)
学 部 長	(モリシタ ヨシタカ) 森下 芳孝 (令和4年4月1日)		就任(平成30年4月1日) 再任(令和2年4月1日) 再任(令和4年4月1日) 再任(令和6年4月1日) (6)
学科長等	(ヨネダ ミサオ) 米田 操 (令和5年4月1日)		再任(令和6年4月1日) (6)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健衛生学部 臨床検査学科 学士 (臨床検査学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	4年	50人	2年次0人 3年次0人 4年次0人	200人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	50 () []	人 () []	50 () []	人 () []	—	1.14倍	—	
志願者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	272 () []	人 () []	372 () []	人 () []				
受験者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	272 () []	人 () []	365 () []	人 () []				
合格者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	139 () []	人 () []	182 () []	人 () []				
B 入学者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	58 () []	人 () []	56 () []	人 () []				
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		1.16		1.12					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留學生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
 ・ (春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択)。
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 ・ 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 ・ なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 ・ 「(5) ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	56 () []	人 () []	
2年次	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	58 () []	人 () []	58 () []	人 () []	
3年次	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	
4年次	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	
計	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	58 () []	人 () []	114 () []	人 () []	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ []内には、留學生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ ()内には、在学者の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 編入学学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 ・ また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留學生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	58 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	114 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{58} = \boxed{0} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{114} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜保健衛生学部 臨床検査学科＞

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	いのちの倫理学	1前	1								6
	医療の倫理学	1前		1							7
	医療の基礎入門	1前	1			1					6
	臨床医学への招待	1前		1							7
	医療・福祉の変遷と制度	1前	1								6
	人々の生活と医療	1前		1							7
	医療人能力実践Ⅰ(学科プログラム)	1前	1			2	1				
	医療人能力実践Ⅱ(体験プログラム)	1前	1				2				36
	医療人能力実践Ⅲ(データサイエンス)	1後	1								1
	医療人能力実践Ⅳ(発展プログラム)	1後	1			1					30
	多職種連携の基礎	2前	1			2					13
	事例で学ぶ多職種連携	3後		1		1					16
	実践で学ぶ多職種連携	4前		1		2					24
	慢性疾患で学ぶチーム医療(基礎)	1後		1		1					8
	慢性疾患で学ぶチーム医療(実践)	2前		1		2					18
	医学医療の最近の進歩	1前		1							7
	食と健康	1前		1		1					7
	医療における安全と安心	1前		1		1					6
	東洋医学と統合医療	1前		1							1
	現代医療と看護・介護	1後		1							3
	薬の役割・薬のできるまで	1後		1							5
	情報時代と医療	1後		1							1
	医療とコミュニケーション	1後		1							1
	スポーツと健康	1後		1							2
	スポーツの科学	1後		1							2
	スポーツ科学実習	1後		1							2
	哲学と死生観	1前		1							1
	病と文化	1前		1							1
	人類の疾病と医療	1後		1							1
	心と医療	1後		1							1
	法と医療	1後		1							1
	経済と医療	1前		1							1
	医療・福祉と財政	1前		1							1
	社会病理と人の病	1後		1							1
	英語Ⅰ	1前	1								1
	英語Ⅱ	1後	1								1
	医療英語の基礎A	2前		1							1
	医療英語の基礎B	2後		1							1
	英語コミュニケーションA	1前		1							1
	英語コミュニケーションB	1後		1							1
	中国語Ⅰ	1前		1							1
	中国語Ⅱ	1後		1							1
	物理学の世界	1後		1							1
	環境科学	1前		1							1
	地球科学・宇宙科学	1前		1							2
	科学史・科学哲学	1後		1							1
	数学Ⅰ	1前		2							1
	数学Ⅱ	1後	2								1
	化学Ⅰ	1前	2								1
	化学Ⅱ	1後	2								1
	生物学Ⅰ	1前	2			1					
	生物学Ⅱ	1後	2			1					
	情報リテラシー	1前	1								1
	小計(53科目)	-	21	38	0	7	2				144

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	いのちの倫理学	1前	1								4
	医療の倫理学	1前		1							7
	医療の基礎入門	1前	1			1					5
	臨床医学への招待	1前		1							7
	医療・福祉の変遷と制度	1前	1								6
	人々の生活と医療	1前		1							6
	医療人能力実践Ⅰ(学科プログラム)	1前	1			2	2				
	医療人能力実践Ⅱ(体験プログラム)	1前	1				2			1	34
	医療人能力実践Ⅲ(データサイエンス)	1後	1								1
	医療人能力実践Ⅳ(発展プログラム)	1後	1				2				29
	多職種連携の基礎	2前	1			2					13
	事例で学ぶ多職種連携	3後		1		1					15
	実践で学ぶ多職種連携	4前		1		2					24
	慢性疾患で学ぶチーム医療(基礎)	1後		1		1					11
	慢性疾患で学ぶチーム医療(実践)	2前		1		2					20
	医学医療の最近の進歩	1前		1		1					6
	食と健康	1前		1							8
	医療における安全と安心	1前		1		1					6
	東洋医学と統合医療	1前		1							1
	現代医療と看護・介護	1後		1							3
	薬の役割・薬のできるまで	1後		1							5
	情報時代と医療	1後		1							1
	医療とコミュニケーション	1後		1							1
	スポーツと健康	1後		1							2
	スポーツの科学	1後		1							2
	スポーツ科学実習	1後		1							2
	哲学と死生観	1後		1							1
	病と文化	1前		1							1
	人類の疾病と医療	1後		1							1
	心と医療	1後		1							1
	法と医療	1後		1							1
	経済と医療	1前		1							1
	医療・福祉と財政	1前		1							1
	社会病理と人の病	1後		1							1
	英語Ⅰ	1前	1								1
	英語Ⅱ	1後	1								1
	医療英語の基礎A	2前		1							1
	医療英語の基礎B	2後		1							1
	英語コミュニケーションA	1前		1							1
	英語コミュニケーションB	1後		1							1
	中国語Ⅰ	1前		1							1
	中国語Ⅱ	1後		1							1
	物理学の世界	1後		1							1
	環境科学	1前		1							1
	地球科学・宇宙科学	1前		1							1
	科学史・科学哲学	1後		1							1
	数学Ⅰ	1前		2							1
	数学Ⅱ	1後	2								1
	化学Ⅰ	1前	2								1
	化学Ⅱ	1後	2								1
	生物学Ⅰ	1前	2			1					
	生物学Ⅱ	1後	2			1					
	情報リテラシー	1前	1								1
	小計(53科目)	-	21	38	0	7	2				136

	精度管理学	3前	2				1				
	遺伝子検査学	2前	1				1				
	遺伝子検査学実験	2後	2				1			1	
	再生医療技術学	3後	1			2	1				
	再生医療技術学実習	4前		1		2	1			1	
	卒業研究	4通年	4			7	2				10
	小計(66科目)	-	101	5	0	7	3			3	25
自由科目	東洋医学基礎理論Ⅰ	2前			1						1
	東洋医学基礎理論Ⅱ	2後			1						1
	生薬学	3前			1						1
	中医薬膳学	3前			1						1
	小計(4科目)	-	0	0	4						
	合計(123科目)	-	122	43	4	7	3			3	153
卒業要件及び履修方法											
必修科目122単位、専門基礎科目の選択科目から11単位以上、専門分野の選択科目から2単位以上を修得し、135単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限(年間):1年次49単位、2年次36単位、3年次57単位、4年次20単位)											

	精度管理学	3前	2				4	1			
	遺伝子検査学	2前	1					1			
	遺伝子検査学実験	2後	2					1		1	
	再生医療技術学	3後	1			2		1			
	再生医療技術学実習	4前		1		2		1			
	卒業研究	4通年	4			7	2				
	小計(66科目)	-	101	5	0	7	2				17
自由科目	東洋医学基礎理論Ⅰ	2前			1						1
	東洋医学基礎理論Ⅱ	2後			1						1
	生薬学	3前			1						1
	中医薬膳学	3前			1						1
	小計(4科目)	-	0	0	4						2
	合計(123科目)	-	122	43	4	7	2				143
卒業要件及び履修方法											
必修科目122単位、専門基礎科目の選択科目から11単位以上、専門分野の選択科目から2単位以上を修得し、135単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限(年間):1年次49単位、2年次36単位、3年次57単位、4年次20単位)											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 礎 科 目	いのちの倫理学	1前	1								5
	医療の倫理学	1前		1							7
	医療の基礎入門	1前	1								7
	臨床医学への招待	1前		1							7
	医療・福祉の変遷と制度	1前	1								6
	人々の生活と医療	1前		1							6
	医療人能力実践Ⅰ（学科プログラム）	1前	1			2	2				
	医療人能力実践Ⅱ（体験プログラム）	1前	1				3				34
	医療人能力実践Ⅲ（データサイエンス）	1後	1								1
	医療人能力実践Ⅳ（発展プログラム）	1後	1				2				31
	多職種連携の基礎	2前	1			2					13
	事例で学ぶ多職種連携	3後		1		1					15
	実践で学ぶ多職種連携	4前		1		1					25
	慢性疼痛で学ぶチーム医療（基礎）	1後		1		1					8
	慢性疼痛で学ぶチーム医療（実践）	2前		1		1					20
	医学医療の最近の進歩	1前		1		1					6
	食と健康	1前		1		1					8
	医療における安全と安心	1前		1							7
	東洋医学と統合医療	1前		1							1
	現代医療と看護・介護	1後		1							3
	薬の役割・薬のできるまで	1後		1							5
	情報時代と医療	1後		1							1
	医療とコミュニケーション	1後		1							1
	スポーツと健康	1後		1							2
	スポーツの科学	1後		1							2
	スポーツ科学実習	1後		1							2
	哲学と死生観	1前		1							1
	病と文化	1前		1							1
	人類の疾病と医療	1後		1							1
	心と医療	1後		1							1
	法と医療	1後		1							1
	経済と医療	1前		1							1
	医療・福祉と財政	1前		1							1
	社会病理と人の病	1後		1							1
	英語Ⅰ	1前	1								1
	英語Ⅱ	1後	1								1
	医療英語の基礎A	2前		1							1
	医療英語の基礎B	2後		1							1
	英語コミュニケーションA	1前		1							1
	英語コミュニケーションB	1後		1							1
中国語Ⅰ	1前		1							1	
中国語Ⅱ	1後		1							1	
物理学の世界	1後		1							1	
環境科学	1前		1							1	
地球科学・宇宙科学	1前		1							1	
科学史・科学哲学	1後		1							1	
数学Ⅰ	1前		2							1	
数学Ⅱ	1後	2								1	
化学Ⅰ	1前	2								1	
化学Ⅱ	1後	2								1	
生物学Ⅰ	1前	2			1						
生物学Ⅱ	1後	2			1						
情報リテラシー	1前	1								1	
小計(53科目)	－	21	38	0	4	2				148	

[illegible]

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・指導体制見直しにより、「医療人底力実践Ⅰ（学科プログラム）」の専任教員の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「医療人底力実践Ⅱ（体験プログラム）」の専任教員の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「医療人底力実践Ⅳ（発展プログラム）」の専任教員の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・「熊取淳」「西岡淳二」「棚橋伸行」「前河裕一」については、令和5年度において、医療栄養学科臨床検査学専攻所属につき「専任」ではなく「兼担」としてカウントしている。なお、順次臨床検査学科に異動予定（設置時からの計画通り）。

【令和6年度】

- ・指導体制見直しにより、「医療の基礎入門」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「医療人底力実践Ⅱ（体験プログラム）」の専任教員の配置を「准教授3」から「准教授2」「助手1」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「実践で学ぶ多職種連携」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「慢性疼痛で学ぶチーム医療（実践）」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「食と健康」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「医療における安全と安心」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「生化学実験」の専任教員の配置を「助手1」から「教授5」「准教授1」「助手2」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「微生物学」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教育課程の見直しにより、「生理学実習」の配当年次を「2年前期」から「2年後期」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「臨床検査医学演習（R-CRC等）」の専任教員の配置を「教授3」から「教授6」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「医用工学」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「医用工学実習」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「情報科学概論」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教育課程及び指導体制見直しにより、「医動物学」の配当年次を「1年前期」から「1年後期」に変更及び、専任教員の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「血液検査学Ⅰ」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「血液検査学Ⅱ」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「血液検査学実習」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教育課程及び指導体制見直しにより、「機器分析学」の配当年次を「2年後期」から「2年前期」に変更及び、専任教員の配置を「教授0」「准教授0」から「教授7」「准教授2」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「臨床化学Ⅰ（放射性同位元素検査技術学を含む）」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「臨床化学実習」の専任教員の配置を「助手1」から「助手2」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「微生物検査学Ⅰ」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「微生物検査学Ⅱ」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教育課程及び指導体制見直しにより、「微生物検査学実習」の配当年次を「3年前期」から「3年後期」に変更及び、専任教員の配置を「教授0」「助手1」から「教授1」「助手2」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「免疫検査学」の専任教員の配置を「准教授0」から「教授1」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「免疫検査学実習」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「生理機能検査学実習」の専任教員の配置を「助手1」から「助手2」に変更。
- ・教育課程及び指導体制見直しにより、「臨床検査学総論実習（医動物学を含む）」の配当年次を「2年後期」から「2年前期」に変更及び、専任教員の配置を「教授1」「助手1」から「教授3」「助手2」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「医療安全管理学」の専任教員の配置を「教授3」から「教授6」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「医療安全管理学実習」の専任教員の配置を「教授2」「助手1」から「教授5」「助手2」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「チーム医療」の専任教員の配置を「教授2」から「教授4」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「総合臨床検査学演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授3」から「教授7」に変更。
- ・教育課程及び指導体制見直しにより、「総合臨床検査学演習Ⅱ」の配当年次を「4年前期」から「4年後期」に変更及び、専任教員の配置を「教授3」から「教授7」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「総合臨床検査学演習Ⅲ」の専任教員の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「技能修得到達度評価実習」の専任教員の配置を「教授3」「助手0」から「教授6」「助手3」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「臨床実習」の専任教員の配置を「教授3」から「教授6」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「食品学」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「健康食品総論」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「血液・移植検査学」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「輸血・移植検査学実習」の専任教員の配置を「教授0」「助手1」から「教授1」「助手2」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「検査管理総論Ⅰ」の専任教員の配置を「教授2」「准教授0」から「教授7」「准教授2」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「検査管理総論Ⅱ」の専任教員の配置を「教授2」「准教授0」から「教授7」「准教授2」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「精度管理学」の専任教員の配置を「教授0」「准教授0」から「教授4」「准教授1」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「再生医療技術学」の専任教員の配置を「教授0」から「教授2」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「再生医療技術学実習」の専任教員の配置を「教授2」から「教授0」に変更。
- ・指導体制見直しにより、「卒業研究」の専任教員の配置を「教授4」「准教授1」から「教授7」「准教授2」に変更。
- ・「熊取厚志」「西岡淳二」「棚橋伸行」については、令和6年度において、医療栄養学科臨床検査学専攻所属につき「専任」ではなく、「兼担」としてカウントしている。順次臨床検査学科に異動予定。（設置時からの計画通り）。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
122 科目	43 科目	4 科目	169 科目	122 科目 []	43 科目 []	4 科目 []	169 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{169} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	145,386.45㎡	0㎡	0㎡	145,386.45㎡				
	運動場用地	23,805.30㎡	0㎡	0㎡	23,805.30㎡				
	小 計	169,191.75㎡	0㎡	0㎡	169,191.75㎡				
	そ の 他	26,012.73㎡	0㎡	0㎡	26,012.73㎡				
	合 計	195,204.48㎡	0㎡	0㎡	195,204.48㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		65,593.21㎡ (65,593.21㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	65,593.21㎡ (65,593.21㎡)				
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		25室	8室	12室	1室 (補助職員 人)	3室 (補助職員 人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		保健衛生学部臨床検査学科			10 室				
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	(図書・学術雑誌・視 聴覚資料) 学部単位で の特定不能なため、大 学全体の数 受入数増・利用不可分 除籍による減などのた め (5・6) (機械・器具) 備品台 帳の見直しによる増 (6) (機械・器具) 新規購 入による増 (5) (標本) 備品台帳見直 しによる減 (6) (標本) 他学科共用の見 直し (5)	
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
	保健衛生学部 臨床検査学科	161,430 [13,943] 168,718 [19,320] 167,167 [19,220]	1,072 [426] 1,159 [511] 1,158 [511]	97 [94] 104 [101] 107 [104]	2,211 1,093	464 235 229	97 146 98		
		(161,430 [13,943]) -(168,718 [19,320]) -(167,167 [19,220])	(1,072 [426]) -(1,159 [511]) -(1,158 [511])	104 [101] -(104 [101]) -(107 [104])	2,211 -(1,093)	464 235 229	97 146 98		
	計	161,430 [13,943] 168,718 [19,320] 167,167 [19,220]	1,072 [426] 1,159 [511] 1,158 [511]	97 [94] 104 [101] 107 [104]	2,211 1,093	464 235 229	97 146 98		
		(161,430 [13,943]) -(168,718 [19,320]) -(167,167 [19,220])	(1,072 [426]) -(1,159 [511]) -(1,158 [511])	104 [101] -(104 [101]) -(107 [104])	2,211 -(1,093)	464 235 229	97 146 98		
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		座席を整備したため (6)	
		3,872.89㎡		430 514		193,361			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		1,888.73㎡		テニスコート5面					

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体・購入時に精査したため (5)
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	400千円	400千円	図書購入費	57,129千円 64,460千円	64,460千円	63,460千円	
		共 同 研 究 費 等	0千円	0千円	設備購入費	7,396千円 13,500千円	8,850千円	8,850千円	
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	設備購入内容及び金額の精査による (4・5)	
		1,600千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	-千円	-千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	鈴 鹿 医 療 科 学 大 学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
<u>保健衛生学部</u>	4	400	-	1600	-	1.02	0.99	-	平成3	-	
放射線技術科学科	4	100	-	400	学士 (診療放射線学)	1.14	1.10	-	平成3	(2年次以降) 三重県鈴鹿市岸岡町1001番地1	
医療栄養学科	4	40	-	160	学士 (栄養学)	1.07	-	-	平成3	同上	令和5年度から入学定員変更 (90→40)
管理栄養学専攻	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	平成23	同上	令和5年度入学生より学生募集停止 (医療栄養学科として募集)
臨床検査学専攻	4	-	-	-	学士 (臨床検査学)	-	-	-	平成23	同上	令和5年度入学生より学生募集停止 (臨床検査学科として募集)
<u>臨床検査学科</u>	4	50	-	200	学士 (臨床検査学)	1.14	-	-	令和5	同上	
リハビリテーション学科	4	80	-	320	-	1.00	-	-	平成31	同上	
理学療法学専攻	4	40	-	-	学士 (理学療法学)	1.15	1.10	-	平成31	同上	
作業療法学専攻	4	40	-	-	学士 (作業療法学)	0.84	-	-	平成31	同上	
医療福祉学科	4	60	-	240	-	0.76	-	-	平成16	同上	
医療福祉学専攻	4	30	-	-	学士 (医療福祉学)	0.67	-	-	平成25	同上	
臨床心理学専攻	4	30	-	-	学士 (心理学)	0.85	-	-	平成25	同上	
鍼灸サイエンス学科	4	30	-	120	学士 (鍼灸学)	0.95	-	-	平成25	同上	
<u>救急救命学科</u>	4	40	-	160	学士 (救急救命学)	1.05	-	-	令和4	三重県鈴鹿市南玉垣町3500番地3	
<u>医用工学部</u>	4	80	-	320	-	0.86	-	-	平成3	-	
臨床工学科	4	40	-	160	学士 (臨床工学)	0.98	-	-	平成3	(2年次以降) 三重県鈴鹿市岸岡町1001番地1	
<u>医療健康データサイエンス学科</u>		40	-	160	学士 (医療健康データサイエンス)	0.75	-	-	令和3	同上	
薬学部	6	100	-	600	-	0.83	-	-	平成20		
薬学科	6	100	-	600	学士 (薬学)	0.83	-	-	平成20	三重県鈴鹿市南玉垣町3500番地3	
<u>看護学部</u>	4	100	-	400	-	1.07	1.06	-	平成26		
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.07	1.06	-	平成26	三重県鈴鹿市南玉垣町3500番地3 (全学部全学科の1年次) 三重県鈴鹿市南玉垣町3500番地3	
大学全体	4 6	580 100	-	2920	-	-	-	-	-	-	収容定員は全学部全学科、令和6年度の入学定員×修業年限の数値。

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) - ② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
7	3	0	0	10	3	4	2	0	0	6	3
(4)	(2)	(0)	(0)	(6)	(3)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
7	2	0	0	9	3	7	2	0	0	9	3
[0]	[△1]	[0]	[0]	[△1]	[0]	[0]	[△1]	[0]	[0]	[△1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員のう ち、定年を延長して 採用する教員数
65	1	4
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{10} = \boxed{90} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{6} = \boxed{16.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{3}{3} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和4年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	開設直後という事もあり、現在は学科設置届出書の計画通りの配置となっているが、右記の「今後の実施計画」に沿って運営をしていく予定である。(5)	本学の定年に関する規程に定められた教員の定年年齢は65歳であるが、特に在職を必要と認められる者については「学校法人鈴鹿医療科学大学教職員の定年に関する規程」第4条により、5年を限りに教員として再委嘱することができ、さらに特別の理由がある場合には「鈴鹿医療科学大学特任教員規程」第4条により5年を超えての雇用ができることになっている。このことから、完成年度までに交代しなければならない状態ではない。しかし、早い段階で若い教員を補充し、教育の連続性を担保しつつ、世代交代を進めるために、学科の人材育成目標に立脚しながら、最新の臨床検査学分野の教育研究ができる教員を確保することを検討している。(5)
届 出 時 (令和4年)	二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないように留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。	学生においては、1年次は白子キャンパス、2年次以降は千代崎キャンパスに通学するため、キャンパス間移動は発生しないが、2年次に進級後、1年次の科目を履修する場合には、遠隔やオンデマンドで対応している。また、対面の場合は、移動時間を十分に取れる時間割を組むなどの配慮を行っている。教員については、公用車での移動を推奨し、自家用車、公共交通機関を利用する場合は、交通費を支給するなどの配慮を行っている。学生の課外活動等については、キャンパス間の距離が近いことため徒歩での移動が可能となっている。また、キャンパスごとに部活やサークルを設置しているため、所属するキャンパスで活動が可能となっている。(5)(6)	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	入学者選抜の適切な実施等を通じ、収容定員超過の改善に努めること。	入学者選抜の適切な実施に努めた結果、収容定員充足率は1.16(令和5年度)から1.14(令和6年度)に改善された。(6)	今後も継続して適切な定員管理に努める。(6)

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
- 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
- 令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
- 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
- 令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。
- 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
- 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健衛生学部 臨床検査学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	特になし。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 ・FD推進委員会 FD推進委員会を設置している。FD推進委員長、副学長（教務・教育改革担当）、各学部学科から1名の代表教員が参画している。【添付「鈴鹿医療科学大学FD推進委員会規程」参照】 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ・FD推進委員会 上記委員会が中心となり、年間の活動計画を検討し、その課題に合わせて教員を選出し、活動している。参加状況は月1回程度の委員会にほぼ全員の委員が出席している。 また、FD推進委員会の下部組織として、LMS研究部会を設置し、2021年度から活動開始。 c 委員会の審議事項等 ・本学独自のFD体制を構築 ・FD・SD講演会・教育研究会等の実施 ・授業評価高得点賞の表彰 ・授業評価公開内容および活用方法の検討 ・外部FDフォーラムへの参加 ・FDハンドブックの制作 ・学生参画型委員会の開催 ② 実施状況 a 実施内容 ①FDハンドブックの作成及び活用方法の検討 ②FD・SD講演会の開催について ③教育研究会の開催について ④学生に対する授業評価アンケートについての説明会を動画配信で開催 ⑤学生による授業評価高得点賞の表彰者の検討 ⑥授業評価結果公開内容の検討 ⑦学外主催のFDフォーラム等への参加 ⑧学生参加型のFD推進委員会を開催
--

b 実施方法

- ①FD推進委員会にてFDハンドブック2024を作成し、授業運営の工夫や教育改善の取り組み事例等に加え各学科・専攻におけるFDハンドブックの活用方法について掲載した。全教員へ配布済み。
- ②FD・SD講演会開催日を大学の学年暦に掲載し実施。 令和6年9月1日（金）予定
LMS研究会は令和5年度に2回実施。
- ③教育研究会開催日を大学の学年暦に掲載し実施。
令和4年度：3月17日（金） 令和5年度：3月15日（金）
- ④授業評価アンケートを前期、後期及び秋期の計3回実施。その結果、高得点の教員方と学長が面談し、工夫等聞き取りした結果 高得点賞を決定している。表彰された教員は前項の教育研究会で講演した上で、要約文書をFDハンドブックに掲載し、授業の工夫等を全学で共有。
- ⑤授業評価結果をグラフ化し、本学教育システムにて履修学生にフィードバックし、更に大学ホームページ学内専用サイトに公開。今後は記述の部分についても公開を検討中。
- ⑥FDフォーラムに参加した教員は、大学ホームページ掲載用報告書を作成。
- ⑦全学科・専攻から1名ずつ学生代表として「教育改善委員」を命じ、FD推進委員会に出席。
令和3年度：3月18日（金） 令和4年度：3月17日（金） 令和5年度：3月15日（金）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ①FD推進委員会の中にワーキンググループを設置し、FDハンドブックの作成を進めている。
- ②FD講演会 参加人数 169名
Zoomで開催したため、参加できなかった教員へは録画URLを配信。
視聴後、教務課へレポートの提出で参加確認している。
- ③授業評価結果を受けて改善した内容等を記すため、シラバス項目内に「授業評価結果等の活用・改善案等」を設けている。シラバスは2011年以降WEB公開しているため、履修希望学生や履修後学生も閲覧が可能。
また、本項目のみ印刷し、図書館に配架しているため、いつでも閲覧が可能。
- ④教育研究会にて、学生による授業評価高得点賞の方々の表彰式および、学長による授業評価アンケートの分析結果と受賞者（2022年度5名 2023年度5名）による授業工夫の講演を実施。
- ⑤授業評価結果を受けて改善した内容等を記すため、シラバス項目内に「授業評価結果等の活用・改善案等」を設けている。シラバスは2011年以降WEB公開しているため、履修希望学生や履修後学生も閲覧が可能。
また、本項目のみ印刷し、図書館に配架しているため、いつでも閲覧が可能。
- ⑥FDフォーラムへの参加報告書を大学ホームページ学内専用サイトへ公開している。
2023年度 FDフォーラムは、コロナウイルス感染症拡大の影響によりZoom及び対面で開催した。
- ⑦学生代表「教育改善委員」が、教育改革委員会&FD推進委員会合同会議に参画。
開催日：令和5年8月3日（金）9時30分～11時 事前に意見を収集した資料を基にZoom開催
テーマ：1. 3つのポリシー等の教育目標から見て教育が適切に行われているかについて
2. 学生による授業評価をどのように教員の授業改善に結びつけるかについて
3. 遠隔授業（Zoom）について
4. 教育に関する改善点について

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生授業評価にて、学生から高評価を得ているため、教員は予習復習のためのe-learningを活用している。
学生授業評価を前期、後期で行い、2024年度はセメスターごとに授業評価を実施することで、よりスピード感を持って授業改善を行っていく。また、学生代表が委員会へ参画することで意見を収集し、それらを基に短期・長期的に改善しなければならない点（講義内容や形式）を教員間で認識するために、今後に向けた議論の展開をしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

（有）実施時期：（前期）令和5年5月29日～8月4日
（後期）令和5年10月27日～令和5年11月10日、令和5年12月12日～令和6年2月6日 の3回

b 教員や学生への公開状況、方法等

履修学生には、教務システムにより公開し、大学ホームページ学内専用サイトでも公開している。
学生のアンケートによって改善した点は、印刷したものを冊子にし、図書館で閲覧できるようにしている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

臨床検査学科は、保健衛生学部教育研究目的に基づき、生命科学、健康科学に精通し、臨床検査の知識を深め、医学検査の専門的知識、医療技術、医療栄養学、コミュニケーション能力等を身につけ、病院、健診・検査センター、研究所、企業、行政、教育等の分野において活躍できる臨床検査技師を養成することを目的としている。今年度は開設2年目となるが妥当な基礎学力を持つ学生を確保することができている。上記目的を達成するため、申請時の計画を確実に履行していく次第である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

「鈴鹿医療科学大学基本方針2015」に基づく

- ・令和元年6月 第2期中期計画1年目の自己点検・評価を公表済
- ・令和2年6月 第2期中期計画2年目の自己点検・評価を公表済
- ・令和3年6月 第2期中期計画3年目の自己点検・評価を公表済

「鈴鹿医療科学大学基本方針2021」に基づく

- ・令和4年7月 中期計画1年目の自己点検・評価を公表済
- ・令和5年6月 中期計画2年目の自己点検・評価を公表済
- ・令和6年6月 中期計画3年目の自己点検・評価を公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和4年度認証評価機関（日本高等教育評価機構）の評価受審済、評価基準に適合していると認定された。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無] ※抜粋版

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。